

新型コロナウイルスワクチン

予防接種

詳しい接種方法などは決まり次第、市ホームページ・広報ねやがわでお知らせします。

接種スケジュール

- ①医療従事者など
 - ②高齢者（昭和32年4月1日以前に生まれた人）
 - ③基礎疾患を有する人など
 - ④上記以外の人
- ①～④の順に接種を進めていく見込みです。高齢者への接種の開始は、早くても4月1日以降になる予定です。

3月中旬 3月下旬 4月頃

①医療従事者などへの接種

高齢者への接種券郵送

②高齢者への接種

ほかの人への
接種券郵送

③基礎疾患を有する人
(高齢者以外) への接種

③高齢者施設などの従事者への接種

④上記以外の人に対し、ワクチンの供給量などを踏まえ順次接種

回数 2回

費用 無料

※今後の国の対応方針などにより変更が生じる場合があります。

コールセンター 準備中

電話番号は決まり次第、市ホームページ・「広報ねやがわ」でお知らせします。

新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種実施本部 設置

健康部に「新型コロナウイルス感染症ワクチン接種実施本部」を設置しました。

これまでは新型コロナウイルス感染症対策室がワクチン接種に関する業務を行ってきましたが、

迅速かつ的確なワクチン接種に向け、医療機関との調整や接種会場の運営などの準備を進めています。



▲任命式の様子

特集1 新型コロナウイルス感染症情報

もうすぐ春ですね

引き続き感染拡大防止にご協力を

2月に入り、市内の新型コロナウイルス感染者患者は減少傾向が見られます。しかしながら、大阪府内の重症患者用の病床使用率は依然として高いことなどから、引き続き感染拡大防止にご協力をお願いします。

☎ 新型コロナウイルス感染症対策室 (☎829・1210)



対面時のマスク着用の徹底をお願いします

人と話すときにマスクを口元から外しては、マスク着用の意味がありません。「自分が感染しているかもしれない」と思って、人と対面時にはマスクを着用して会話しましょう。

会食はお控えください

3月～4月は歓送迎会・お花見が多いシーズン。緊急事態宣言が解除されても、歓送迎会やお花見に伴う会食などはなるべく控えてください。



大人数での 会食

自分が、家族が 感染したら…

感染者・濃厚 接触者が語る



Tさん (60代男性)

市内在勤、妻・2人の子とも同居。新型コロナウイルス感染症患者となり、隔離療養施設で約10日間過ごした。

誰が感染してもおかしくない

30日に隔離療養施設に移ることに。2日間の自宅待機を余儀なくされましたが、自分が感染したと判った後の自宅待機は辛かったです。「家庭内隔離を徹底しないといけない」と、私も家族も我が家に居ながらも本当に緊張した時間を過ごしました。家族の苦勞を考えると一刻も早く療養施設へ移りたいとの気持ちでいっぱいでした。

家族だけでなく、職場の同僚やそのほか周りの方々にどれほどの迷惑をかけることになるのか、また、仕事の

急に訪れた自宅待機 早く療養施設に行きたかった

某月の26日、のどの奥のイガイガ感と咳の症状が出ました。28日に検温すると37度2分でしたので、「ただの風邪だろう」と思いながらも、妻に促されて近くの病院の発熱外来を受診。問診後、抗原検査を受検すると陽性が判明しました。職業柄、感染対策に人一倍気を遣っていました。このところ何ら特別な行事や予定はなく、密状態となるような会合も一切ありませんでしたので、感染経路は全く思いつきませんでした。予期していませんでしたが、家族は3人とも陰性。ただけ気を付けていても、誰もがいつどこで感染してもおかしくないのだと思えました。



Yさん (50代女性)

市内在住、夫・息子・娘と同居。息子が新型コロナウイルスに感染し、自身と夫・娘が濃厚接触者として2週間の自宅待機をした。

家族みんな精神的に辛かった

息子が新型コロナウイルスに感染したと分かったときは、驚きと、生活や仕事はどうなるのかという不安の気持ちでいっぱいでした。幸いにも息子は軽症だったため、ホテルで療養することとなりました。しかし、すぐにホテルに移るわけではなく、療養先が決まるまでの3日間は自宅待機でした。

家族を守るために家庭内隔離が始まる

これ以上家庭内で感染を広げたくない、息子は2階の自室に隔離。2階のトイレを息子専用とし、私たちは1階のトイレを使用しました。念のために食事は紙皿や紙コップ、割りばしなどを使ってもらいました。

息子がホテルに移ってから、家庭内感染には気を付けました。毎朝起きて一番にすることはアルコール消毒液で家中の拭き掃除。自宅でもマスクを着用しましたし、「マイタオル」を首に掛けたり腰に付けていたりして、タオルも共用しないようにしました。目に見えないウイルスと戦うのはプレッシャーがありました。が、「家族を守るのが今の私の仕事」と思っていました。そのおかげもあってか、残る3人は感染せずに乗り切れました。

配食サービスは精神的にも救われた 濃厚接触者として外出できないと

なったとき、食べることや生活がどうなるか不安でした。以前から広報誌やテレビなどで配食サービスの存在は知っていたので、利用させてもらうことにしました。これが本当にすごく助かったんです。午前には朝食が、午後に夕食と翌日の朝食が届きました。朝はパンで昼と夜は野菜中心のヘルシーなお弁当でしたよ。メニューもすごく配慮されていて、たとえば朝食に付くジュースは、ぶどう味2つとみかん味1つ、という風に、私たち家族3人が選べるようになっていましたし、配食サービスを利用して約1週間一度も同じメニューが出ることも

滞留や遅延などを招いてしまうのではないかなど、ネガティブ思考が頭を巡って少しも落ち着けなかった記憶があります。その後、幸いにもPCR検査を受けた同僚の陰性の連絡が順次あり、本当に有難いことだと思えました。

新型コロナ ナウイルス

体験記

閉そく感を感じた隔離生活

30日午後、送迎車で療養先のホテルへ向かいました。設備面は十分でしたが、自室以外での自由空間が無いことの閉塞感や圧迫感、ルームコールでの看護師さんとの「健康管理報告」以外は、一日のうち誰とも会話が点など、通常とは違う隔離生活の辛さは、まさに経験した者でないとい味わえないものだと思っています。健康管理報告や食事配布、館内清掃実施などを知らせる定時の館内放送が日々繰り返される

はありませんでした。外出できず楽しみが少ない中で、食事は毎回楽しみでした。食事は自宅前の段ボール箱の中に置いてもらうのですが、後からお弁当屋さんの人が「先ほどお食事届けました」と電話してくれ、それが元氣よく明るい声で、こちらを氣遣ってくださっているようでありがたかったです。濃厚接触者として自宅から一歩も出られず、もちろん仕事もできないと、外とのつながりが全くありません。友人や近所の人にも事情を話してないため、もちろん相談や不安な気持ちを打ち明けることもできない。そんなときに、明るく対応してくださって、とても励まされる気持ちになりました。

新型コロナとの家族みんなの戦い

息子がホテルへ移って2週間後、私たちの健康観察期間が終わりまりました。自宅待機中、夫と私は仕事のことを本当に気がかりでしたし、娘は勉学の遅れを心配していました。家族みんなの新型コロナウイルスとの戦いが終わりました。

配食サービスだけでなく保健師の方々にもサポートしてもらい、本当に感謝しています。寝屋川市の迅速な対応のおかげで、少しずつ日常を取り戻しています。

なか、その指示を刻々と受けながら、約10日間にわたる言いようのない閉塞感漂う施設内での生活が始まりました。

31日の午後から熱が38度5分となり、味覚異常も感じるようになり、味覚障害も合わさり食欲がなく、食事がとれない状況が続きました。看護師さんに相談すると、重症化する恐れもあると言われました。最近のニュースで、在宅又は療養施設滞在中に重症化したと聞くことも多いことから、特に私の年代以上の感染症患者にとっては他人事では済まされない状況なのだと思えます。

新型コロナの恐ろしさ

家族や親身になってくれた看護師さんのおかげで、症状改善後は特段の不安もないまま過ごせました。保健所の担当者の方や隔離療養施設のスタッフや看護師さんの方々が誠心誠意対応してくださったことに感謝しています。

家族や同僚、友人その他大勢の関係者に多大な迷惑と不安を与えてしまったことに、言いようのない申し訳のなさ、絶望感や悔しさを感じました。今回、周りの人に陽性者が出なかったことが何よりとするならば、場合によってはその人の生活を一変させてしまう可能性も表裏一体で存在するということではないでしょうか。

※①個人が特定されないように配慮しています②配食サービスのメニューは異なることがあります。